

農業農村整備を通じた流域治水の推進

奈良県における取組

【担当省庁】農林水産省



令和6年度当初予算で防災重点ため池整備等にかかる農村地域防災減災事業予算を要望どおり確保いただいたことに感謝。

1. 流域治水の推進

【現状】

- 奈良県にある防災重点ため池971箇所の調査・整備を計画的に行っているところ。
- 県では昭和58年より大和川流域では、農部局と河川部局が連携して流域治水の中でため池の治水利用を進めており、149カ所のため池で364千㎡の治水容量を確保。農業用水としての利用が減少しているため池の改修時に洪水吐を改良し、水位低下方式で治水容量を生み出している。
- 本県の大和川流域が全国で初めて特定都市河川に指定されたことに伴い、河川部局において、貯留機能保全区域（農地が有する貯留機能を将来にわたって可能な限り保全していく区域）の指定に向け、関係者と協議を進めているところ。
- 農業利用の減少により、維持管理が難しい防災重点ため池は廃止する傾向。

【課題】

- 防災重点ため池の整備は約30%が完了済みで、治水利用を併せて、全面改良から段階整備に切り替え、引き続き対策が必要。
- 貯留機能保全区域の指定では、将来にわたって農地を維持するための負担軽減対策が必要となってくる。
- ため池廃止には、流入土砂や除草対策など将来の管理や活用を含めた、整備手法が必要。

国にお願いすること

1. ため池の治水利用推進に向けた予算確保及び管理対策の拡充

- 流域治水に寄与するため池等農業水利施設の整備に対する、農村地域防災減災事業及び農業水路等長寿命化・防災減災事業の予算確保。
- ため池の治水利用推進に向けた課題。
 - 防災事業効果算定の考え方
流域治水として位置付けられた流域内のため池に係る治水利用整備においては、ため池毎の発現効果ではなく、流域全体としての発現効果の算定
 - 廃止ため池における遊水機能の確保
廃止ため池において平時の貯水機能を喪失させつつ、出水時には遊水地として機能するような廃止整備手法の導入
 - 廃止ため池の適正な管理のための、堤体切り下げ部および池底の防草対策（コンクリート張、防草シート等）



大屋下池（葛城市）



久保山池（五條市）

2. 貯留機能保全区域に指定された農地を対象とする支援

- 貯留機能保全区域において営農を継続し、農地が有する貯留機能を保全していくための支援策
 - 貯留機能保全区域において継続的な営農を行うための基盤整備に対する新たな補助事業制度の創設
 - 多面的機能支払交付金における貯留機能保全区域に対する加算措置の追加及び当該交付金申請に伴う事務処理に対する支援

【県担当部局】 食農部農村振興課